



東邦大学 科学技術社会論Ⅰ（第12回）授業中レポート

(1) 氏名

(2) 学籍番号

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
3	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
4	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
5	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
6	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
7	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

(3) 英国で科学技術コミュニケーション活動の先駆けとも言えるクリスマスレクチャーを始めた化学者・物理学者は誰か？

マイケル・ファウラー

(4) 科学技術コミュニケーションの文脈における「欠如モデル」とはどのような前提に立った考え方か。可能な限り自分の言葉で説明せよ。

専門家は科学的知識も豊富に持っており、一般市民は不十分
にしか持っていないので、その欠如している分をコミュニケーション
によって補おうとする考え方。

(5) NIMBY（ニンビィ）とは何の略語か。そしてそれはどのような考えのことか説明せよ。

not in my backyard. 社会などには必要な施設だが自分の家の近くには建設して
ほしくないという考え方。

(6) 欠如モデルの背後にもあったとされる、パブリック・アクセプタンス（public acceptance）という考え方はどのようなものか。

一般市民が科学技術を拒否するのは科学技術をよく知っていないから
なので。科学技術について正しく知ってもらえば、科学技術を受け入
れてくれるはずだという考え方。



悪い



良い

- (7) コミュニケーションにおける「伝達モデル」とはどのようなモデル（＝「伝える」コミュニケーション）か。できる限り自分の言葉で説明せよ。

発信側に伝えたいことがすでに用意されており、そのメッセージを可能な限りそのまま受信側に伝えようとするモデル。

- (8) コミュニケーションにおける「構成的モデル（transaction model）」とはどのようなモデル（＝「つくる」コミュニケーション）か。できる限り自分の言葉で説明せよ。

発信・受信が固定的でなく双方向的であり、コミュニケーションのなかで新たな情報や価値が生まれることを目指すモデル。

- (9) 集計民主主義（aggregative democracy）とはどのようなタイプの民主主義か説明せよ。

個々人のなかにすでに例えば誰に投票するかなどの意見があり、その意見は変わらないので、その個々人の意見を集計・合計することで社会的意見決定がなされると考える民主主義。

- (10) 熟議民主主義（deliberative democracy）とはどのようなタイプの民主主義か説明せよ。

個々人のなかにある意見はひとりずつじっくり考える熟慮や2人以上での議論によって変わるものであり、そうした熟議後の意見の方が価値が高い。

- (11) あなたが自分がメインスピーカーのサイエンス・カフェを企画するとしたら、どのようなタイトルでどのような内容について人々と話し合いたいか。

- (12) あなたがサイエンス・ショップをやるとしたら、どのような問題・課題をどのような人々と協働して解決してみたいか。自由に記せ。

- (13) 今日の講義で分からなかったこと、もっと知りたかったことについて、自由に回答せよ。